



まちの

わだい



図書館から

新しい本が入りました

エースの系譜

岩崎 夏海／著

小説

その高校には野球部が存在しなかった。成り行きで任されることになった新任教師は、「このチームを甲子園に連れて行く」と決意を胸に秘める。



北海道の逆襲 眠れる“未来のお宝”を発掘できる方法

井上 美香／著

実用書

北海道は住んでみたい土地ナンバーワンでも実は住みにくい？ 足元で凍っている“未来のお宝”を発掘・活用する方法を具体的に提案。



甲子園がくれた命

中村 計／著

児童書

春の甲子園での活躍で日大三高を準優勝に導いた山崎福也選手。脳腫瘍を克服した彼のがんばりは、多くの人を勇気づけ、命の大切さを教えてくれました。



児童が放課後に活動する場として開設されている児童生活館の平成23年度入所式が、4月6日に行われました。今年、小学1年生から3年生まで39人が入所しました。父母などが見守る中で、全員が入場。一人ずつ名前が呼ばれ、元気よく返事をしていました。子どもたちは、たくさん友達と一緒に放課後の活動を楽しんでいます。



放課後も楽しく児童生活館で

農業担い手カップルを激励

訓子府町農業担い手対策推進協議会（谷本茂樹会長）主催の「農業担い手カップル激励会」が4月1日、町内で開かれました。

この激励会は、同じ年に結婚した農業後継者カップルが集い、交流を深めることを目的に毎年開かれています。

今回は、22年度中に結婚した7組のうち6組が出席しました。男性は、町内の畑作農家や酪農業。それぞれ自己紹介しながら後継者は、「結婚を機に、これまで以上に訓子府農業発展のためがんばりたい」などと力強く抱負を述べ、また、近隣市町や遠く新潟県、神奈川県などから嫁いだ女性たちは「訓子府の大地で、一生懸命がんばります」と誓っていました。

このあと、懇親会に入りましたが、各夫婦は本格的に始まる農作業や、訓子府農業の将来について話すなど、なごやかな雰囲気の中で、交流を深めました。



入学おめでとう

128人が新たな第一歩

居武士小学校



訓子府高校



訓子府中学校



幼稚園・保育園にも 106人

入園おめでとう

毎日元気に通園

くんねっぶ保育園の入園式が4月4日、訓子府幼稚園の入園式が4月8日にそれぞれ行われました。保育園には、乳児から3歳児まで59人が、幼稚園は、4歳児47人が新たに入園しました。式では、父母が見守る中、園児は新しい友達と笑顔を見せ合っていました。また、交通安全協会からは、子どもたちの交通安全を願い、黄色い帽子などが贈られました。



訓子府幼稚園

くんねっぶ保育園

